

施主・テナントが喜ぶ

省エネ・創エネ・蓄エネ 最新動向 〈ビル編〉 & 〈住宅編〉

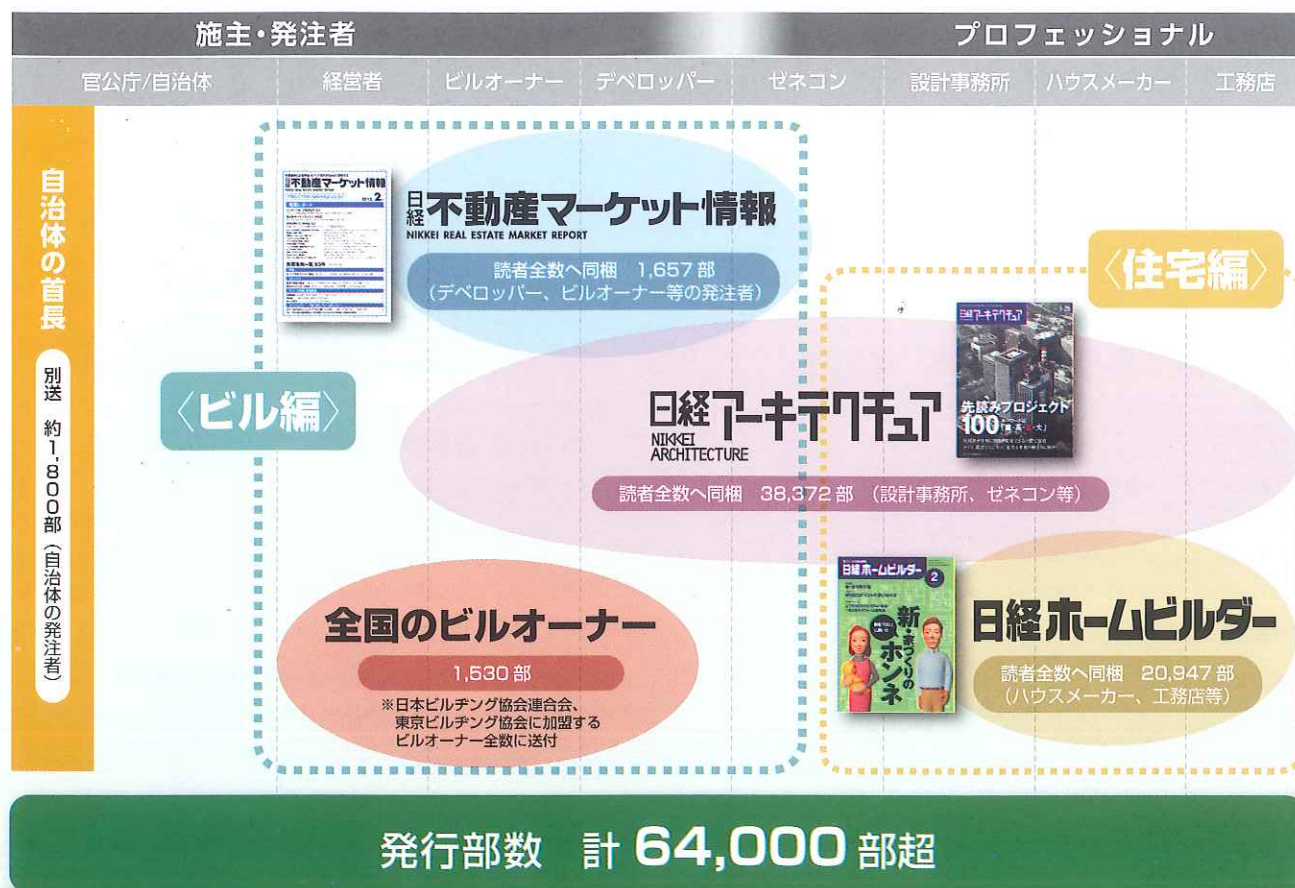
日経BP社建設局では、新しい街づくりを提唱していく「Project ECHO CITY」を始動しました。

ECHO (エコー) とは、「Eco Conscious and Human Oriented」の略であり、環境への思いに加え、環境と人が響き合うという意味を重ね合わせています。当プロジェクトでは、街づくりに関わる皆様とともに、地球環境問題に配慮しつつ、人と人の息遣いまでを感じ取れるような新しい街づくりを追求していきたくと願っております。

本プロジェクトの一環として、8月に特別編集版「施主・テナントが喜ぶ 省エネ・創エネ・蓄エネ 最新動向」を発行いたします。特集内容は〈ビル編〉〈建築編〉との二本立てで展開し、各分野のプロフェッショナルである日経アーキテクチャ、日経不動産マーケット情報、日経ホームビルダーそれぞれの読者にお届けします。

さらに今回は、全国の自治体首長や東京を中心とした全国のビルオーナーに向けても特別に配送。より広く濃いターゲットに、貴社の製品・サービス情報をリーチしていただけます。ぜひこの機会に広告出稿をご検討いただけますよう、宜しくお願いいたします。

建設業に従事するプロフェッショナルに加え
自治体・ビルオーナーなどの**施主・発注者**にもリーチします。



環境に配慮し、人を中心に据えた街づくりのために

～多様なステージで構成される「Project ECHO CITY」～

「Project ECHO CITY」は、「コミュニティ」「アーキテクチャ」「ICT/制御・コントロール」「エネルギー」「土地・不動産」の5つのステージから新しい街づくりを考えていきます。

この5つのステージはそれぞれが独立して存在するわけではなく、お互いに関与しながら、ひとつの街を形成していきます。例えば、アーキテクチャとエネルギー、エネルギーとICTなど様々に関わりあいながら、住む人(働く人)と街との良い関係の在り方を重視し、“環境と人が響き合う街づくり”を実現していきます。



編集予定

※内容は予告無く変更になる可能性があります。

編集長メッセージ

「施主・テナントが喜ぶ 省エネ・創エネ・蓄エネ」

日経アーキテクチャ編集長 真部 保良
日経ホームビルダー編集長 小原 隆
日経不動産マーケット情報編集長 徳永 太郎

〈住宅編〉

「省エネ・創エネ・蓄エネ住宅 徹底ガイド」

補助事業が始まったゼロ・エネルギー住宅基準、8月頃に明らかになる認定低炭素住宅基準の施策を徹底解説。加えて、2020年度の省エネ義務化、2030年度のゼロ・エネルギー化などに向けた、住宅の省エネ化を巡る最新動向を紹介します。

「省エネ・創エネ・蓄エネ住宅 実例集」

戸建て住宅、新築マンションにおいて省エネ、創エネ、蓄エネを実現した事例を紹介します。

- 建築環境・省エネルギー機構のLCCM住宅認定取得住宅
- 国土交通省の住宅・建築物省CO2先導事業認定住宅
- ホンダ、ヤマダ電機(エス・バイ・エル)など、異業種が考える省エネ住宅
- 太陽光発電システムで大規模発電を目指す集合住宅
- 外断熱で化石燃料消費を抑制した集合住宅

広告対象製品

- | | |
|-----------|--|
| ■ 屋根関連部材 | 遮熱塗料、遮熱シート、屋上緑化、太陽光パネル、トップライト、膜、ポリカーボネート…など |
| ■ 開口部関連部材 | 断熱サッシ、内窓、遮熱フィルム、Low-e複層ガラス、ブラインド、ルーバー、オーニング、ひさし、すだれ…など |
| ■ 創エネ・蓄エネ | 太陽光発電システム、蓄電池、発電機、太陽熱、エネファーム、風力、地中熱システム…など |
| ■ 照明 | LED照明、高効率蛍光灯をはじめとした省電力照明、自動調光システム、太陽光採光装置…など |
| ■ 空調・給湯関連 | 冷暖房設備、空調・換気設備、高効率給湯器…など |
| ■ 外壁関連部材 | 断熱材、壁面緑化、木質パネル…など |
| ■ システム関連 | BEMS、HEMS、エレベーター、エスカレーター |
| ■ その他 | グリーンリース |

その他、省エネ・創エネ・蓄エネに関連する建材・設備全て

〈ビル編〉

最新事例紹介

「これからできる注目サステナブルビル」

“省エネ”視点に加えて、“防災性”“耐震性”といった点からもサステナブルな建物事例を紹介します。

- 断熱性能の高い躯体外装システム(Low-E、ペアガラス、ダブルスキンなど)を活用した建物事例
- LED照明をはじめとする知的照明システム、輻射熱空調を活用した建物事例
- 太陽光をはじめとする自然エネルギー活用例
- エネルギー消費が少ない設備システム(BEMSなど)活用例

ケーススタディ

「省エネ・創エネ・蓄エネ 最前線」

ハードだけでなくソフト面での工夫を凝らすことによって、テナント・ビルオーナー双方にとってメリットの生まれたケースを紹介します。

- 「最先端 省エネビルのその後」(開業から半年～飯野ビル)
- 「テナントにもオーナーにもメリットがあるグリーンリース」(瀬川ビル)
- 「[オフィス、商業施設の“適光適所”推進～知的照明システムの動向]

動向解説

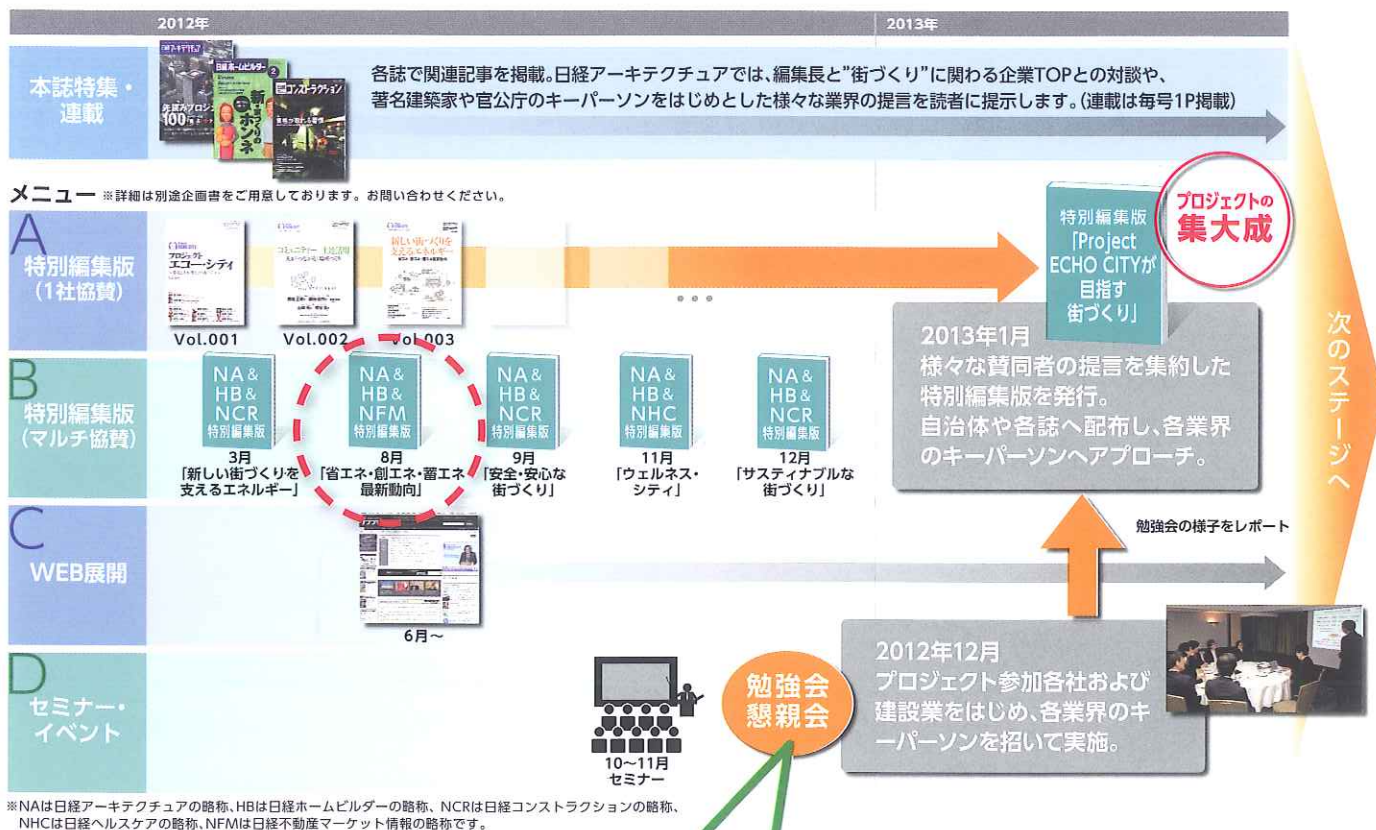
「拡大する環境格付け徹底解説」

- 米国の建物環境認証システムLEED、建築環境総合性能評価システムとは何か
- トピック「CASBEE不動産マーケット普及版がサービス開始へ」
- LEEDの動向&認証物件一覧
- 金融機関の建物環境認証システム&認証物件一覧

Project ECHO CITY 全体スケジュール

「Project ECHO CITY」では年間を通してメッセージを発信してまいります。

本誌での特集・連載のほか、特別編集版の発行、セミナー、参加企業の皆様との勉強会などを予定しています。



12月 勉強会・懇親会を通じての「つながり」が新たなビジネスを創造します。

あらゆるステークホルダーと「つながり」、知恵をぶつけ合うことで、新たな「街づくり」の新たな「ビジネスシーン」を創造し得る、リアルな「つながり」の場をご提供します。

勉強会では、大手設計事務所・建設会社、各業界の著名人、リーディングカンパニーを招いて、特別パッケージにご協賛いただいた各社様と新しい街づくりに向けてディスカッションし、その内容を、2013年1月発行の特別編集版「Project ECHO CITY」が目指す街づくりに掲載し、広く情報発信します。

勉強会後には懇親会を実施し、つながりをより深めていただく場をご提供します。

●プログラム (予定)

15:00 15:05		■主催者挨拶 日経BP社 建設局長 宮崎清志
15:05 16:50	勉強会	■セッション 主要テーマに沿って、参加者間によるディスカッションを実施。テーマ毎に50分×2部構成を予定。 ●メインコメンテータ：著名建築家 ●ファシリテータ：日経アーキテクチュア発行人 宮崎清志、編集長 真部保良 15:05～15:55 ①「サステイナブル / エネルギー」 太陽光×空調×建築家×自動車×HEMS×蓄電池など 16:00～16:50 ②「安全・安心」 耐震×照明×セキュリティ×デベロッパ×有識者など ※セッションのテーマは、参加企業によって変更の可能性がございます。内容は、皆様からの要望をお聞きした上で、構成いたします。
16:50 17:00		■総括 日経アーキテクチュア 編集長 真部保良
17:10 18:40		懇親会

媒体概要

●発行時期：2012年8月 ●発行部数：64,000部 ●体 裁：A4変型、40ページ程度(予定)

スケジュール

●日経アーキテクチュア	8月25日号同梱(8月22日売)	■申込締切日	7月12日(木)
●日経ホームビルダー	9月号同梱(8月20日売)	■タイアップ取材締切日	7月 3日(火)
●日経不動産マーケット情報	9月号同梱(8月20日売)	■オフラインデータ締切日	7月31日(火)
		■オンラインデータ締切日	8月 2日(木)

メニューと料金(税別)

A 純広告

表4※	¥1,900,000	4色1/2ページ よこ	¥850,000
表2見開き※	¥3,300,000	4色1/3ページ たて	¥550,000
第2表2見開き※	¥3,000,000	白黒2/3ページ たて	¥750,000
4色1ページ※	¥1,400,000	白黒1/2ページ よこ	¥600,000
4色2/3ページ たて	¥1,050,000	白黒1/3ページ たて	¥400,000

※サイズはブリード版となります。

B 特別パッケージ

雑誌・Web サイトに加え、リアルな「つながり」の場である
勉強会・懇親会をパッケージにした、特別パッケージをご用意いたしました。

1 【4色2ページ／タイアップ記事広告】

【ケンプラッツ／タイアップサイト】

2 掲載期間：2012年9月～2013年3月

誘 導：ケンプラッツ内各種サイト&メールで誘導

3 【勉強会・懇親会】

2012年12月開催の勉強会・懇親会にご参加いただけます。

特別パッケージ料金

280万円(450万円以上相当のところ)



レイアウトイメージ



タイアップサイト
レイアウトイメージ